

元気な『ちば』を創る『ちばの豊かな食卓づくり』計画 を策定しました。
キャッチフレーズは 『食べること・生きること』^{いのち}生命をつなぐちばの食育 です。

計画策定の趣旨

私たちは、社会環境の変化やライフスタイルの多様化とともに、豊かさを追求するあまり、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会構造を作り出し、物質的に恵まれたいわゆる「飽食の時代」を迎えています。

私たちは食べたい時に食べたいものを自由に口にすることができます。しかし、一方で、食べることへの意欲、関心や「食」を大切にすることが薄れ、食生活の乱れや肥満の増加など、食を取り巻く様々な問題が生じています。今こそ、「食育」について問題意識を持って考える必要があるのではないのでしょうか。

食材本来の味、郷土の味や食文化を、様々な体験や人との触れ合いを通して学ぶとともに、自分の食を大事にした生活の基本を身につけ、健康なからだをつくり上げていくことは大切なことです。食育はその基礎であり、食を見直すということは、生き方そのものを見直すことではないかと考えます。

千葉県は、新鮮でおいしい食材が豊富な全国に誇る農林水産業県です。郷土意識を育むことにつながるよう「千産千消」を推進し、ふるさとの味を大切にしてもらいたいと願っています。

そこで、県民の皆様へ、人間はなぜ食べるのかという原点に戻って考えてほしい、また、食の本質、食の基本や食の価値を理解し、日々の生活の中で実践してほしい、そして、未来を担う子どもたちにしっかり伝えてほしいという願いを込め策定した計画です。

計画の位置づけ

- この計画は、白紙の状態からタウンミーティング等を重ね、県民の声を踏まえ作り上げた県民主体の計画です。
- 食育基本法第17条に基づく「千葉県食育推進計画」です。
- 県の食育に関する総合計画であり、市町村食育推進計画の指針として、また、県民運動の指針として活用していただくものと位置づけています。
- 「健康ちば21」「千葉県教育の戦略的なビジョン」「千葉県次世代育成支援行動計画」等との連携を図ります。

計画の期間と目標

- 平成20年度（2008年度）から23年度（2011年度）までの4年間の計画です。
- 具体的な指標（数値目標）を設定して、県民・関係者が一体となって食育を推進します。

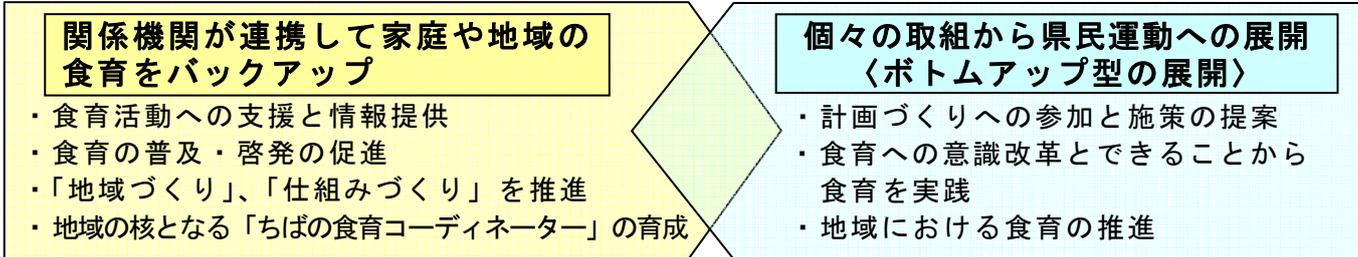
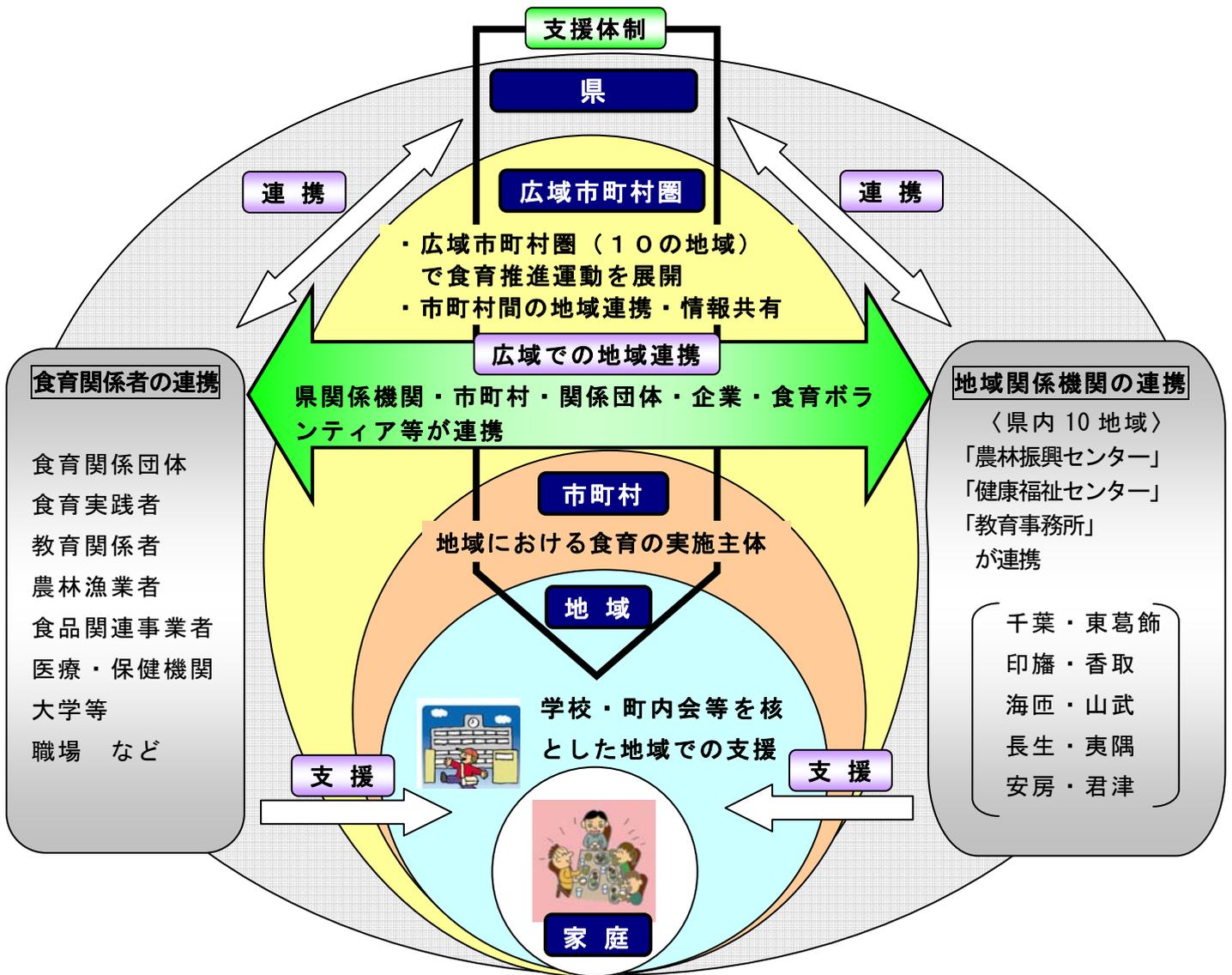
ちばの食育推進体制

家庭・学校・地域の連携を強化し、市町村や県の関係機関、さらに食育関係者が連携して家庭を支援する「仕組みづくり」「地域づくり」を通して、地域が一体となった家庭の食育を支える取組を推進します。

市町村食育推進計画づくりの促進

住民にもっとも身近な自治体である市町村は、地域に根ざした食育を実践していく極めて重要な役割を担っています。地域の特性を生かした、県民一人ひとりにとって有用で具体的な施策展開の実現に向けて、市町村食育推進計画の策定を促進します。

地域社会全体で家庭の食育を支援します



食育のうねり

主役は県民
600万人の
ちば